

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2023

成果報告レポート

助成番号 23-2-2

アセスメント外名 医療的ケア児家族をつなぐスタッフ育成プログラムの実施とリーダー研修の開発

団体名 特定非営利活動法人アンリーシュ

代表者名 金澤裕香

助成額 147 万円

設立年 2018 年

URL <https://aboutus.unleash.or.jp/>



(団体について)

NPO 法人アンリーシュは「共に自分らしく生きられる社会へ」を理念にし、社会に知られていない事で、生きづらさや孤独感を抱えている方を1人でも減らす活動を通して、多様性のある未来づくりを目指している。

特に医療的ケア児家族の支援を中心に行なっており、情報不足・孤独感の軽減・経済的不安を取り除く活動を行なっている。

医療的ケア児家族専門メディア・オンラインコミュニティの運営・イベントの開催などを年間通して提供している。

(助成による活動と成果)

このプロジェクトでは、当団体を当事者家族が中心に運営する体制を作ることで、自助コミュニティとして活用することを目指している。自助活動を促進する講座の開講や告知活動を行なった。ボランティア講座では、SNS の運用についてなどを当事者家族に伝え、自ら情報発信を団体を通して行なった。

ボランティアメンバーが作成した SNS は平均 7,000 閲覧となり、多くの家族の情報不足・認知拡大に貢献している。

(残された課題、新たな課題)

医療的ケア児の家族の関心は高いものの、参加者数は想定より少なかった。忙しい家族にとって、時間の確保が難しいため、より柔軟な参加方法（録画視聴や短時間のコンテンツ提供など）が必要を感じた。

基礎・実践講座を修了した受講生が、その後どのように活動を継続するかの仕組みが十分に整っていない。継続的な学びの場や、修了生同士のネットワーク作りを促進する必要がある。

(活動の背景・社会的課題) (団体からのメッセージ)

医療的ケア児家族への関心は高まり様々な支援がスタートしている一方で、支援を使う当事者家族自身の知識や力量を上げていくことが大切だと考える。

当団体では当事者家族の自助活動を支え、「家族力」の強化、支援される側から支援者への移行をサポートしていく。